

指定管理者の期末モニタリング

施設名	福祉交流センター「陽だまりサロン」	年度	令和5年度
指定管理者	特定非営利活動法人 きらりびとみやしろ	担当課	福祉課
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	期別	第4期
施設の目的	高齢者、障がい者及び児童等が気軽に集い、交流できる場を提供し、様々なふれあいを通して、互いに理解し合うことで、誰もが生きがいをもって暮らし、社会活動への積極的な参加を促進することを目的とする。		
業務の内容	(1)施設の運営に関すること。 (2)施設、設備及び物品の維持管理に関すること。 (3)施設の設置目的にあった自主事業の実施に関すること。 (4)その他必要な業務に関すること。		

総合的な評価

【総合評価】 A優良 0 B適正 14 C改善 0

- ・施設の設置目標を踏まえて適正に管理していた。
- ・リピーターも多く、利用者の満足度の高さがうかがえた。
- ・多くの人々が交流できる施設として運営していた。

【評価事項】

- ・小学校内併設という特性を考慮した子ども達との交流事業は、事業展開に工夫努力し積極的に取り組み、地域と学校の交流が図られていた。
- ・新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行したが、まだまだ感染症対策が必要である状況下で、感染症対策を行いながら、利用者の参加促進が図られていた。

【改善事項】

より様々な世代の方々に利用していただけるよう、学校と連携を図りながら、情報発信に取り組んでほしい。

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
・陽だまりサロン運営管理業務、事業の開催等事業計画に定めた業務を適切に実施していた。 ・指定管理者、笠原小学校、町担当者で構成する「利用調整会議」を月1回開催し、活動内容の確認評価及び事業予定について検討・調整し、事業の充実に工夫を凝らしていた。 ・小学校内に併設されている為、教育活動に支障をきたさないようにするとともに、児童が利用しやすい環境に配慮していた。		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
・事業参加申込みや利用等、利用者の公平に配慮していた。 ・広報配布地域により集客に若干の偏りがあるが、利用の公平等に関する苦情はなかった。		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
・適切かつ十分な人材を配置していた。 ・NPO法人の中で介護研修等「陽だまりサロン」運営に役立つ研修に年1回職員が参加していた。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
・清掃、保守点検等施設管理は、適切に実施していた。 ・木製の机や椅子のささくれは気を付けて払拭していた。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
・利用者サービスに支障がないよう対応していた。 ・学校と連携し、蛍光灯の交換を進めていた。		
6. 備品管理	評価	B 適正
・備品台帳により適切に管理していた。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
・閉館時の緊急連絡体制を整備していた。 ・利用者の連絡先の確認は引き続き徹底し、行っていた。		

8. 個人情報の管理	評価	B 適正
・受付簿等個人情報を扱う際の住所は地域名のみで、他電話番号等必要最小限の項目を確認していた。 ・サロンの施錠と個人情報をキャビネットに入れる等管理も適正に行っていた。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
・職員が直接受けた意見を「利用調整会議」にて検討していた。 ・陽だまりサロンの行事内容が書かれたポスターについて適切に掲示されているか問い合わせがあった場合、確認後速やかに掲示するなど、対応できるものはすぐに対応していた。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
・事業計画に基づき、適切に事業を実施していた。 ・令和7年度に25周年を迎えるにあたり、20周年に新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった多世代参加型の行事を実施するための準備を進めていた。 ・折り紙のイベントに来た方が編み物のイベントに来るなど、イベント参加のきっかけ作りや参加の流れができていた。 ・子育て世帯の母親等からのイベントの申し出があるなど、より多世代へ利用範囲が広がっていた。		
11. 経費節減	評価	B 適正
・必要に応じて電気を消したり、冷暖房に頼らないよう努力していた。 ・事業の講師等ボランティアの利用により経費削減に取り組んでいた。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
・蛍光灯を学校と連携し、LEDに交換して、環境配慮に努めていた。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
・広報、ホームページ、きらり通信、公共機関でのポスターやチラシの掲示等で情報提供、活動周知していた。		
14. 会計管理	評価	B 適正
・受託事業会計として運営経費を区分し、適切に管理していた。		